

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 1 区分
 【発行日】平成20年2月14日 (2008.2.14)

【公表番号】特表2007-521952(P2007-521952A)
 【公表日】平成19年8月9日 (2007.8.9)
 【年通号数】公開・登録公報2007-030
 【出願番号】特願2006-552113(P2006-552113)
 【国際特許分類】

B 0 5 B 7/14 (2006.01)

【F I】

B 0 5 B 7/14

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月17日 (2007.12.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

粉末コーティング材を計量供給するためのディスペンサにおいて、
 前記ディスペンサが、前記粉末材を吐き出すための開口及び前記粉末材を供給源から移送するための導管を有し、
前記導管は、

第一の減径セクションと、

前記第一の減径セクションに連結されており、かつ前記粉末材の流れ方向において前記第一の減径セクションよりも下流である、第一の増径セクションと、

前記第一の増径セクションに連結されており、かつ前記粉末材の流れ方向において前記第一の増径セクションよりも下流である、第二の減径セクションと、

前記第二の減径セクションに連結されており、かつ前記粉末材の流れ方向において前記第二の減径セクションよりも下流である、第二の増径セクションとを備え、

前記開口に隣接する前記第二の増径セクションは、前記第二のセクションを通る前記粉末材の流れの方向を横切る断面を有し、前記第二の増径セクションの前記断面がほぼ長方形である、ディスペンサ。

【請求項 2】

前記第二の減径セクションが、前記第二の減径セクションを通る前記粉末材の流れの方向を横切る断面を有し、前記第二の減径セクションの前記断面もほぼ長方形である、請求項 1 に記載のディスペンサ。

【請求項 3】

前記第一の減径セクションは、第一の減径セクション入口端と第一の減径セクション出口端とを有し、

前記第一の増径セクションは、第一の増径セクション入口端と第一の増径セクション出口端とを有し、

前記第一の減径セクション出口端は、前記第一の減径セクション及び前記第一の増径セクションを通る前記粉末材の流れの方向を横切る前記第一の膨張セクション入口端の断面積と同じである、前記第一の減径セクション及び前記第一の増径セクションを通る前記粉末材の流れの方向を横切る断面積を有している、請求項 2 に記載のディスペンサ。

【請求項 4】

前記第二の減径セクションは、第二の減径セクション入口端と第二の減径セクション出口端とを有し、

前記第二の増径セクションは、第二の増径セクション入口端と第二の増径セクション出口端とを有し、

前記第二の減径セクション出口端は、前記第二の減径セクション及び前記第二の増径セクションを通る前記粉末材の流れの方向を横切る前記第二の膨張セクション入口端の断面積と同じである、前記第二の減径セクション及び前記第二の増径セクションを通る前記粉末材の流れの方向を横切る断面積を有している、請求項 3 に記載のディスペンサ。

【請求項 5】

前記第二の減径セクションは、第二の減径セクション入口端と第二の減径セクション出口端とを有し、

前記第二の増径セクションは、第二の増径セクション入口端と第二の増径セクション出口端とを有し、

前記第二の減径セクション出口端は、前記第二の減径セクション及び前記第二の増径セクションを通る前記粉末材の流れの方向を横切る前記第二の膨張セクション入口端の断面積と同じである、前記第二の減径セクション及び前記第二の増径セクションを通る前記粉末材の流れの方向を横切る断面積を有している、請求項 2 に記載のディスペンサ。

【請求項 6】

前記第一の減径セクションは、第一の減径セクション入口端と第一の減径セクション出口端とを有し、

前記第一の増径セクションは、第一の増径セクション入口端と第一の増径セクション出口端とを有し、

前記第一の減径セクション出口端は、前記第一の減径セクション及び前記第一の増径セクションを通る前記粉末材の流れの方向を横切る前記第一の膨張セクション入口端の断面積と同じである、前記第一の減径セクション及び前記第一の増径セクションを通る前記粉末材の流れの方向を横切る断面積を有している、請求項 1 に記載のディスペンサ。

【請求項 7】

前記第二の減径セクションは、第二の減径セクション入口端と第二の減径セクション出口端とを有し、

前記第二の増径セクションは、第二の増径セクション入口端と第二の増径セクション出口端とを有し、

前記第二の減径セクション出口端は、前記第二の減径セクション及び前記第二の増径セクションを通る前記粉末材の流れの方向を横切る前記第二の膨張セクション入口端の断面積と同じである、前記第二の減径セクション及び前記第二の増径セクションを通る前記粉末材の流れの方向を横切る断面積を有している、請求項 6 に記載のディスペンサ。

【請求項 8】

前記第二の減径セクションは、第二の減径セクション入口端と第二の減径セクション出口端とを有し、

前記第二の増径セクションは、第二の増径セクション入口端と第二の増径セクション出口端とを有し、

前記第二の減径セクション出口端は、前記第二の減径セクション及び前記第二の増径セクションを通る前記粉末材の流れの方向を横切る前記第二の膨張セクション入口端の断面積と同じである、前記第二の減径セクション及び前記第二の増径セクションを通る前記粉末材の流れの方向を横切る断面積を有している、請求項 1 に記載のディスペンサ。